

第3回 竹原市子ども・子育て会議議事録要旨

令和8年3月10日（火）竹原市保健センター2階 会議室

1. 開会

欠席委員 2名
委員交代 副市長自己紹介

2. 協議事項

(1) 竹原市こども計画の変更について

資料1により事務局から説明

事務局提案に異議なし。

(2) 乳児等通園支援事業の認可等について

資料2・別紙1により事務局から説明

事務局提案に異議なし。

(2) 保育提供体制の確保のための実施計画について

資料3・別紙1～3により事務局から説明

実施計画について、異議なし。
竹原こども園の運営について質疑あり。

【質問・意見】

委員 竹原中学校区には、大乘こども園もあるが、竹原こども園が受け入れを停止した場合、保護者が希望した園に入れるのか。

事務局 小規模の園を希望される場合、大乘こども園は選択肢になると思う。

委員 公立を希望している場合、選択肢が減るのではないか。

事務局 公立園は、たけのここども園と吉名こども園がある。保護者には、第3希望まで書いてもらって、保育の必要度を点数化して、順番を決めている。公立と私立が共存、補完して竹原市全体のニーズを満たす計画としている。

委員 竹原こども園は土砂災害警戒区域に立地しているということだが、対応はしているのか。先日、三原市で行われた研修がとても良かったので、情報提供したい。

事務局 毎月、いろいろな想定で避難訓練をしている。

委員 こども園の閉園は、人口増を目指す市の他の施策に逆行するのではないか。

事務局 こどもの数が減っている中で、こども計画において必要量を推計して、竹原こども園を閉園しても必要量を確保できる計画としている。仮に、こどもの数が増えて待機児童が出るようであれば、計画を変更することになる。

委員 こども園は、どこも、広めの規模で作ってある。需要が増えた場合でも対応は可能である。

委員長 平成24年のあり方検討委員会で議論されているところだが、60人、20人を切ったら統廃合を検討していくとされている。当時の想定よりも早く、少子化のスピードが速いのが現実だと理解している。こどもの社会性の発達のためにはある程度の集団の規模が必要なので、この計画のようにすすめるのが現実的だと思う。

(4) 賀茂川放課後児童クラブの整備について

資料4により事務局から説明

【質問・意見】

委員 荘野と東野を統合して、35人の定員を増やす予定はあるのか？

事務局 面積基準としては、38人まで受入可能である。統合直後は、定員に達するかもしれないが、その後は定員内で推移するものと考えている。

委員 放課後児童クラブについて説明して欲しい、昔はなかったのだ。

事務局 共働き世帯が増えて、保育園までは預けることができているが、小学校進学すると、放課後に世話をする人がいないという課題が有り、放課後児童健全育成事業ができた。以前は、低学年だけであったが、今は高学年も受け入れている。

委員長 全体を通じてご意見、ご質問があれば。

委員 公立園の再編をされる計画について、こども家庭庁の資料にもあるが、多様なニーズへの対応、障害児や医療的ケア児の受入れについては、人員配置や予算規模、看護師の配置など、法人立では難しいので、そのセーフティネットについては公立園で責任を持って運営していただくように要望する。

3 閉会

以上